

## <平成 23 年度地域教育ネットワーク会議議事要旨 (延岡・日向・東臼杵地区)>

- 1 日 時：平成 23 年 8 月 31 日 (水) 15:00～17:00
- 2 会 場：日向市中央公民館 レクリエーション室
- 3 参加者：各種関係団体等代表 23 名 事務局 5 名
- 4 内 容

### (1) 開会行事

- ① あいさつ
- ② 日程説明

### (2) 事業説明

- ① 平成 23 年度生涯学習関連主要施策について

### (3) 協 議

- ① 自己紹介と日頃の活動について
- ② 子どもの 1 日の生活を支援するために、関係団体・企業等の相互連携はどうあればよいか。

### (4) 閉会行事

## 5 協議のまとめ

参加者一人一人から、日頃行っている子どもの教育支援活動について、簡単に話していただき、他の団の活動状況を知っていただきました。その後、活動上の問題点や課題、取組の成果や今後の教育支援在り方についての協議を行い、以下のような御意見が出されました。

### (1) 活動上の問題点や課題等について

- TV ゲームなどへの興味関心が高い。
- 外遊びの機会が少ない。
- ボランティア同士の連携が希薄である。
- 家庭の役割を果たしていない。
- 子ども会が減少している。

### (2) 今後の取組等について

- 外遊び等の体験をさせる。
- 地域で何か起こすつながりがでてくる。
- 地域で何ができるか話し合う機会をつくる。
- 子どもの実態に応じて支援を行う。
- 大人が真剣にやる。(子どもに伝わるよう)
- 小中一貫校の利点を生かす。
- 地域の方が入りやすいように垣根を取り除く。(岡富中→ボランティアの支援により学力が向上)
- 教員がうまくボランティアを活用する。
- 各種団体と学校との連携を強化する。
- 地域を愛する心を育てる。(地域根付くための)ネタ作り。
- 地域の素材を使う。
- 職業観を育てる。(事業所の様子、働く姿を見せる)
- システムの共有化を図る(市町村の垣根をのぞく)
- 子どもたちの学ぶ意欲を高めるしかけ。
- 学校・地域双方向の動きを作り出す

### (3) 具体的な取組について

- 家庭教育学級を充実している
- 公民館を中心とした寺子屋学習を実施している
- あいさつ日本一運動を実施している
- 子どもたちの集合学習により青年団活動が充実した  
(青年団が支援を行う→やりがい→団員の増加につながる)

